

広報

にしあわくら

11月



今月のテーマ

あわくらACPってなに？

はじめに

村では、生涯スポーツ推進計画に基づき、幼児から高齢者まで幅広い世代がスポーツを楽しめる環境づくりを進めています。そのなかで、小学校の1年生から3年生を対象に、あわくらACP（アクティブチャイルドプログラム）という取りくみが行われています。「あわくらACPクラブ」は、地域ぐるみで子どもたちの「からだを動かすってのしい」という気持ちを育てる新しい取り組みとしてスタートしました。

今回の特集では実際にACPに参加し、活動の魅力について紹介します。

ACP（アクティブチャイルドプログラム）ってなに？

ACP（アクティブチャイルドプログラム）は「すべての子どもたちが生涯にわたって体を動かすことを楽しめるようにする」ことを目指したプログラムです。「走る・跳ぶ・投げる」など、基本的な動きを遊びやスポーツの中でバランスよく経験することで、運動が好きなになり、将来にわたって健康的な身体づくりにつながることを目的としています。こういった取り組みに積極的に取り組む必要があると考えています。

ライフステージに応じたスポーツ活動

令和7年3月に策定された西粟倉村生涯スポーツ推進計画では、ライフステージに応じたすべての世代が参加しやすいスポーツプログラムを推進しています。

幼児・児童向け

運動遊びを通じて、多様な体験を楽しみながら生涯にわたる運動習慣を身につけられるプログラムの実施

→あわくらACPはココ

中高生向け

部活動の地域展開に対応した地域スポーツクラブの整備と、交流試合や大会参加の支援

成人向け

仕事帰りでも参加できる夜間プログラムを提供 健康維持を目的としたランニング・ウォーキングイベントの実施

高齢者向け

軽いウォーキングやストレッチ教室、健康体操の開催 シニア世代向けのスポーツ大会の開催支援

プログラムの紹介

（運動遊び×マルチスポーツ）

17時00分

【出発】



▲元気っからみんなで体育館にいきます。

17時45分

【あわくらACPスタート】



▲線鬼



▲トンネル鬼ごっこ



▲かごに向かってボールを入れていきます



【終了、みんなでモップ掃除】

18時45分





指導者の清家さんにあわくら ACP について聞きました。

清家さんは、地域プロジェクトマネージャーとして村の生涯スポーツの推進や、部活動の地域展開の活動を行っています。

あわくら ACP をはじめたきっかけは？

村の子どもたちを見ていると、元氣そうに見えても、日常的に外で体を動かす機会は意外と少ないように感じます。厚生労働省やWHO

（世界保健機関）では、子どもが「1日60分以上の中強度以上の身体活動」を行うことを推奨していますが、実際にはその基準を満たす子どもは多くはないという調査報告もあります。

子どものころの運動は、体力や運動能力の向上だけでなく、将来の健康にも深く関わっています。たとえば、高齡期の大きな課題である骨粗しょう症の予防にも、子ども時代の骨への刺激が重要だとされています。

つまり、子ども期の運動は「予防」であり、保健福祉の入り口でもあるのです。

こうした考えのもと、「誰もが楽しく体を動かせる環境をつくりたい」という思いから、あわくら ACP クラブをスタートしました。放課後、学童に迎えに行き、スタッフが体育館まで引率することで、安心して参加できる仕組みを整えています。

学校やスポ少のように「競技」や「上達」を目的にするのではなく、

走る・跳ぶ・投げるなどの基本的な動きを”あそび“の中で育てることを大切にしています。

村や地域の中で ACP を広げることにはどのような意義があるでしょうか？

西栗倉のような小さな村だからこそ、運動習慣づくりを地域全体で支えることに意義があります。

活動後は、Pocket で Nest さんが実施されている地域食堂にて、希望者はそのまま温かい夕食をとることができます。

学童のお迎えが17時30分だったものを18時45分まで延長し、運動と食事を自然につなぐ流れをつくったことで、保護者の方々の働きやすさや家事の時間の確保にもつながっているのではないかと思います。

結果として、「運動しやすい」「させやすい」「働きやすい」という三拍子がそろい、多くの家庭から参加希望をいただいています。



現在は登録児童28名となり、村の子どもが多くが放課後に体を動かす機会を持つようになりました。

今後の展望について

そもそも、野山を駆け巡ることが、運動あそびとしては最も質が高いと思っています。

これからは、季節や地域行事と連動しながら、自然の中での活動を増やしていけると嬉しいです。

また、保護者の参加も少しずつ増えてきています。

今は私が指導者としてメインで関わっていますが、いずれはみんなで支え合いながら自走できるクラブに育てたいと考えています。

さらに、今後は「部活動の地域展開」によって、子どもたちのスポーツ環境そのものが大きく変わっていきます。

あわくら ACP クラブで育った子どもたちが、次のステージである4年生以上の小学生や中学生になったとき、どのような環境でスポーツを続けられるのかを地域全体で考えていく必要があります。

その先には、大人や高齡者も含



めた多世代のスポーツ環境づくりがあり、これは「生涯スポーツ」の視点で、教育・福祉・地域づくりなどさまざまな領域を横断しながら進めていく取り組みです。

子どもの健康づくりから始まったこの活動を起点に、世代を超えて運動やスポーツを楽しめる文化が育つ村にしていけたらと思っています。

参加するには？

毎週火曜日の放課後、西栗倉小学校体育館で活動しています。

対象は主に小学校1～3年生。

見学や体験も随時受け付けていますので、教育委員会またはクラブ担当（清家）お気軽にお問い合わせください。

学童からの引率・地域食堂への流れもあり、安心してご参加いただけます。



あわくら ACP について

【日程】
毎週火曜日
（17時45分～18時45分）

【対象】
小学校1年生～3年生

【料金】
無料

【場所】
小学校体育館を中心に、村民グラウンドや自然の中での活動も予定

Instagram を紹介

Instagram



サロンで本と出会う 会話が広がる新コーナー誕生

あわくら会館のサロンコーナーに、本のコーナーを新しく設置しました。待ち時間や休憩のひとときに楽しんでいただけるよう、幅広いジャンルの本を展示しています。内容は数か月ごとに入れ替える予定で、その時々でテーマも変わるかもしれませんが、お友達との会話のきっかけになるような本を選んでいきます。気軽に立ち寄り、読書を通じて交流を深めていただければ嬉しいです。



ご利用案内

図書館のおやすみ 11月

3日(月・文化の日)
23日(日・勤労感謝の日)
24日(月・図書館整理日)

図書館の休館日：祝祭日、毎月最終月曜、年末年始
あわくら会館 開館時間 8:30 ～ 22:00
あわくら図書館 開館時間 10:00 ～ 18:00
あわくら会館のイベントの詳細は別紙チラシをご覧ください。

図書館の新刊案内

『70歳からの老けないボケない記憶術』
和田 秀樹／著 ワン・パブリッシング



70歳を過ぎても記憶力は伸ばせます。記憶の仕組みを理解し、「筆記」「音読」「貼り紙」など簡単で効果的な方法を紹介する一冊です。

・ 一般書

『イカの恋、タコの愛』
佐藤 成祥／著 岩波書店



姿も行動も独特なイカとタコの恋模様を描いた一冊です。人間の常識を超える愛の伝え方を通して、生き物の多様さと不思議さを伝えます。

・ 一般書

『どうにかなるっちゃ ～ 知的障がいのある
自閉症児ゆいなの母の記録～』
蓬郷 由希絵／著 KADOKAWA



知的障がいのある自閉症児の母が子育てを振り返り学びを綴る。悩みに寄り添い「大丈夫」と希望を届ける親子のための本。

・ 一般書

『ねこのピート ふしぎなマジックサングラス』
キムバリー・ディーン、ジェームス・ディーン／作
ひさかたチャイルド



ブルーな気分のねこのピート。不思議なサングラスで元気になり友達に会うが壊れてしまう。それでも前向きになれる絵本。

・ 児童書



▲7/11『ボドパ!』の様子(主催行事)

あわくら会館



あわくら会館で「生きるを楽しむ」様子を紹介

主催行事

感謝の気持ちを写真に込めて
敬老の日メッセージカードづくり
敬老の日にあわせて、お世話になって
いるおじいちゃんやおばあちゃんに写真
付きメッセージカードを贈る企画を行
いました。事前に図書館でカードをお渡
しし、参加者はお気に入りの写真を貼っ
たり、感謝の言葉や思い出を添えたりして
カードを完成させました。「ありがとう」
という言葉とともに真心が込められた
カードは、受け取る方だけでなく贈る
側にも心の温もりを届ける、とても心に残る企画となりました。

主催行事

世代を超えて盛り上がる！
毎月恒例のボードゲームパーティー
毎月「ボードゲームパーティー(通称…ボドパ!)」を開催しています。子どもから大人まで幅広い世代が集まり、さまざまなゲームに挑戦しながら交流を楽しんでいます。初めて参加する方も多く、ルールを教え合いながら和やかな雰囲気です。勝ち負けを超えて一緒に遊ぶことで自然と会話が生まれ、笑顔あふれる時間となっています。今後も世代を超えた交流の場として続けていきます。



▲ note

▲ Instagram
イベント情報

▲ Facebook



『うっちー先生と遊ぼう』
 保育園にうっちー先生が遊びに来てくれました。昨年教えていただいてからずっと楽しんでいる『かおたいそう』の絵本を見ながら「べー」「のーん」と色んな表情をまねっこ。とっても上手でうっちー先生もびっくりでした。ギターが登場すると、ノリノリでダンス！心のままに楽しんだ時間となりました。

保育園



幼稚園

「どんぐりプロジェクト①」

今年も園庭に落ちてきたどんぐりの実からたくさんさんの芽が出てきました。それらを活かせないかと思い、昨年度から、(株)百森の田畑さんと清水さんをお願いし、「どんぐりプロジェクト」が始まりました。

昨年度は、芽が出ていたどんぐりをポットに植え替えました。冬を無事に越すことができるよう、室内で温かく見守り、今年の酷暑には寒冷紗で暑さをしのぎました。

今年度、第一回目のどんぐりプロジェクトでは、森の生態系を学びました。定点カメラが捉えた西粟倉の森に住んでいる動物のうちクマ・キツネはわかって、テン・ヤマドリなど知らない動物もいました。森の生態系がつくる、食物連鎖や物質循環を通じて、自然がバランスを保っていることも学びました。次のプロジェクト②につなげていきたいと思います。



令和7年度 西粟倉村福祉大会を開催しました！

10月3日(金)、西粟倉小学校体育館で、記念式典を主とした「福祉大会」を開催しました。米寿をはじめ、さまざまな節目を迎えられた受賞者の方々、お集まりいただいた皆さんと共に祝いしました。

表彰式の後には、西粟倉小学校全校児童とみどりの共和国合唱団の皆さんによる合唱、西粟倉幼稚園全園児による踊り、カラオケサークルの皆さんの歌唱と、素敵なステージ発表が続きました。元気な歌声やかわいい踊り、名曲の歌唱と楽しい時間でした。

これからも、村内の皆さんが心身ともに健やかに過ごされますように願っています。



令和7年度 福祉大会受賞者

米寿を迎えられた方

(昭和11年9月16日～
昭和12年9月15日生まれ)

地区名	氏名
大茅	井上 磨
大茅	金田 照美
大茅	木村 百合子
猪之部	延東 寛子
猪之部	河野 千代子
塩谷	新田 壽子
塩谷	矢代 豊子
別府	小林 和子
中土居	河野 八恵三
中土居	稲垣 和可子
筏津	高木 泰子

老人クラブ連合会長表彰を
受けられた方

地区名	氏名	表彰の種類
大茅	井上 日子	優良会員
大茅	萩原 千代子	優良会員
大茅	岡田 毅	優良会員
坂根	金子 稔	優良会員
影石	江見 米代	優良会員



頌徳状を受けられた方

(満年齢90歳到達者)

地区名	氏名
大茅	上山 完治
大茅	岡田 毅
猪之部	河野 千代野
猪之部	河野 高志
塩谷	井上 重昭
別府	西本 勇
引谷	平田 穂
下土居	山下 操



珍寿表彰を受けられた方

(満年齢95歳到達者の内、
在宅で生活している方)

地区名	氏名
猪之部	井上 豊
筏津	高木 安子

結婚50周年を迎えられたご夫婦

地区名	氏名
下土居	河野 和彰 美千代
塩谷	新田 茂 多津子



【保健福祉課】

「ドローンサッカーワールドカップ」に
チームmisoro(ミソラ)が出場

9月24日(水)から9月28日(月)の間、韓国で開催される第1回FIDA主催「ドローンサッカーワールドカップ」に、チームmisoroが出場し、西粟倉小学校3年生の篠原あんずさん、篠原すみれさんがメンバーとして大会に挑みました。

出発前には役場を訪れ、激励会が行われました。青木村長からは、「村から生まれる新しい挑戦を全力で応援したい。幅広い世代での活躍を期待している。」とエールが贈られました。また、あんずさんとすみれさんが役場職員の前でドローン操縦を披露し、大きな歓声が上がりました。「頑張ります、応援してください」と力強い決意表明も行いました。



【教育委員会】

私たちヘルスボランティア委員会です

私たちヘルスボランティア委員は、「みんな元気、心と体の健康づくりふれあいを喜びにいきいきと生活できる地域づくり」をキャッチフレーズに活動しています。

10月1日(水)には、食について楽しく学び、元気な体づくりと食の大切さを意識してもらうために、幼稚園を訪問し食育活動を実施しました。

子どもたちは、給食の食材を赤・黄・緑に分け、いろいろな食べ物を好き嫌いなく食べることが健康な体づくりに大切なこと、健康なうちについても一緒に勉強しました。

「楽しかった。」「いろいろなものを食べることが大切なのがあった。」などの感想と元気な笑顔に、私たちヘルスボランティア委員も元気をもらいました。



【保健福祉課】

村に新しい挑戦の場「西粟倉事業協同組合」が誕生しました

村に新しい仕組みがスタート

村で、新しい雇用のかたちをつくる取り組みが始まりました。今年4月、村内7事業者が集まり「西粟倉事業協同組合」を設立し、6月から活動をスタートさせています。村の産業を支える現場では人手不足が大きな課題となってきましたが、この組合を通じて人材を採用し、必要に応じて事業者に派遣する仕組みを整えました。

働く人に安心を、事業者に力を

現在は1名の職員が採用され、林業と観光業を行き来しながら働いています。職員は正社員として社会保険に加入し、安定した収入を得ながら地域活動にも関わるができます。村内の事業者にとっても、季節ごとに変化する人手需要を補える新しい仕組みとなり、雇用の安定と事業継続の両立に寄与すること

が期待されています。

行政の役割と支援体制

組合の設立にあたり、行政は国の交付金制度を活用し、職員給与の一部を補助するなど、運営の支援を行っています。これは単なる事業者支援にとどまらず、「村で安心して働き続けられる環境をどう整えるか」という課題に対し、地域と行政が一体となって挑む取り組みです。

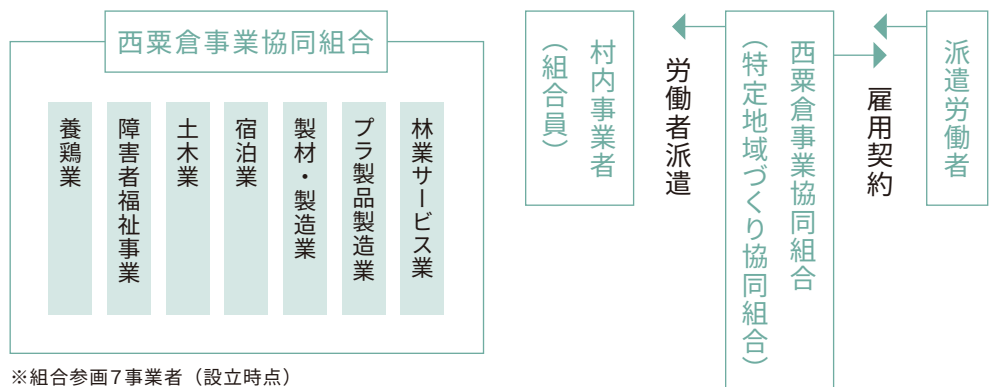
担い手と呼び込み、地域全体で支える

さらに組合は、地域に暮らす人だけでなく、外から新しい担い手と呼び込む活動にも力を入れています。役場からの委託を受けて大阪での合同採用イベントを開催し、村の多様な事業者が一緒になって働き手を募集するなど、単独の組織を超えた「地

域全体での人材確保」に挑戦しています。今後も村との協働により、外から新しい担い手と呼び込む活動に力を入れていきます。

未来に向けて

私たちが目指すのは、安定雇用の創出と働く選択肢の拡大を通じて、若者や移住者を選ばれる村へと歩みを進めることです。林業や観光といった基幹産業に加え、商工業や加工業といった多様な分野をつなぎ合わせ、地域経済が循環する姿を描いています。その実現のための「手段」が今回の制度であり、組合の活動です。この取り組みは、村の将来を支える大切な一歩です。雇用の場を広げ、人と産業がつながる村づくりを進めていくために、地域一体となって取り組んでいきます。



※組合参画7事業者（設立時点）

【西粟倉事業協同組合 m.morimoto@awakura.work】

【産業観光課】

クマの出没に注意

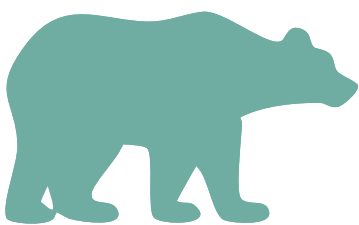
全国的に、クマの出没が相次いでいます。山林や農地、川沿いなどに立ち入る際は、十分にご注意ください。特に早朝や夕方はクマの活動が活発になるため、鈴やラジオなど音の出るものを携帯し、人の気配を知らせましょう。

生ごみや収穫前の作物、果実などはクマを引き寄せる原因となります。屋外に放置せず、適切に管理してください。

クマを見かけた場合は、決して近づかず、静かにその場を離れてください。

クマを発見した場合の対応

- ・クマを見つけたら距離を保ち、静かにその場を離れる。
- ・急な動きや大声でクマを刺激しない。
- ・背中を向けずにゆっくり後退する。



【産業観光課】

勝英地域特産の野菜・花の新規栽培者募集

勝英地域特産のアスパラガス・りんどうについて、販売農家として栽培を検討されている方を対象に、新規栽培説明会を開催します。

アスパラガス：3～10月までの長期出荷で収益確保。軽量のため高齢の方や女性でも取り組みやすい。

りんどう………：仙花からカジュアルまで幅広い需要有。涼しい場所が、栽培に向いており西粟倉村は適地。

その他（黒大豆枝豆、にじのきらめき）も説明予定です。お気軽にご参加ください！

【日時】
12月2日（月） 13時30分～

【場所】
JA英北支店

【申込締切】11月29日（金）

【申込・問い合わせ先】
JA晴れの国岡山勝央
アグリセンター

0868(38)3134

りんどうPR動画



【産業観光課】

カップリングパーティー開催

ケーキデコレーション de 恋が始まるクリスマス

「おいしい！」も「楽しい！」もシェアできるとっておきの婚活イベントが開催されます。

今回のイベントでは一人につき一台のケーキをご用意。自由にデコレーションしながら自然に会話が弾みます。華やかなクリスマスのお雰囲気にも包まれて心ときめく素敵な恋を見つけませんか？

【開催場所】
作東公民館
(美作市江見2263)
【参加資格】
30代&40代の独身男女
※地域制限なし。
ただし、美作市・西粟倉村
在住者を優先
【募集定員】
男女各20名(合計40名)

【参加費】
男女とも1500円
(ケーキ材料&ドリンク)
【×切日】
11月16日(日)
【主催】
美作市市民生活部市民課
【共催】
西粟倉村
【お申込み・お問合せ】
有限会社チアーズ
086-461-0506
10時00分〜19時00分
土日祝対応
※イベントの詳細、お申込みは専用サイトよりご確認ください。

詳細・申し込み



【総務企画課】

令和7年度 人権週間のお知らせ

「誰かのことじゃない」

令和7年12月4日(木)〜10日(水)

世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、人権保障の目標や基準を初めて国際的にうたった画期的なものです。その採択の日である12月10日を国際連合は「人権デー」に定め、法務省の人権擁護機関では10日を最終日とする1週間を「人権週間」と定めています。

現在でも、いじめや虐待、性被害等のこどもの人権問題、インターネット上の人権侵害、障害のある人や外国人、アイヌの人々、性的マイノリティ等の対する不当な差別や偏見、部落差別(同和問題)、ハンセン病問題といった人権問題が依然として存在しています。

様々な人権課題がある中、これらは決して、自分以外の「誰かのこと」、「自分には関係のないこと」ではありません。本年度も人権問題を自分や自分の身近な人の問題として捉え、互いに人権を尊重し合うことの大切さを認識し、ご自身や他人の人権にも配慮した行動をとることができるようになっていきましょう。



【保健福祉課】

おしえて年金

11月は「ねんきん月間」、11月30日(いいみらい)は「年金の日」です！

厚生労働省では、「国民お一人お一人、ねんきんネット」等を活用しながら、高齢期の生活設計に思いを巡らしていただく日として、11月30日(日)(いいみらい)を「年金の日」としています。この機会に、「ねんきんネット」でご自身の年金記録や年金見込額を確認し、将来の生活設計について考えてみませんか。
「ねんきんネット」では、パソコンやスマートフォンからいつでもご自身の年金記録を確認できるほか、ご自身の年金記録からさまざまな条件を設定した上で、年金見込額の試算をすることもできます。

また、マイナポータルと連携することで、国民年金保険料の口座振替申出等の電子申請や確定申告で利用可能な控除証明書等の電子データの取得ができます。

詳しくは、日本年金機構ホームページを「ご覧下さい」。
(「ねんきんネット」のご利用登録も日本年金機構ホームページより可能です。)

★詳しくは、津山年金事務所
(電話0868-31-2360)
までお問い合わせください。

「あなたの街で会いましょう！」 弁護士無料相談会

岡山弁護士会では、弁護士事務所のない県内の全ての市町村で、弁護士による無料相談会を開催します。西粟倉村では下記の日程で開催されますので、法律に関することでお困りの方は、この機会を是非ご利用ください。

【日時】

令和7年12月1日(月)
午後1時〜5時
(予約不要)

【場所】

いきいきふれあいセンター

【相談内容】

法律問題全般

【相談時間】

30分程度

【相談料】

無料

【お問い合わせ】

岡山弁護士会
086-221-8850

【保健福祉課】

脱炭素先行地域 にしあわくら Vol.5

エネルギーマネジメントシステムについて

村民のみなさまに、村内のどこでどのようなエネルギーが生まれているのかを見ていただくことで、どう使っているのかを感じたり、考えられるような仕組み作りを検討しています。

日本では現在エネルギーデータ活用として、AIを活用した需給調整の取り組みなど、それぞれの建物や家庭でエネルギーを管理する試みも始まっています。

私たちもまずは見える化を起点に、村民のみなさま一人ひとりがエネ

ルギーを自分ごととして考えるきっかけづくりを目指しています。

将来的にはマップなどをつなげて発電と消費の動きを視覚的に追えるようにしたり、データ連携を生かした供給や分析ができるようになるかもしれません。

私たちも成果や課題などをデータとしても発信することで、みなさまの暮らしに役立てていただけるように、引き続き仕組みづくりを考えていきます。



むらまるごと通信 vol.48

文化と産業の未来を語る、
台東県との交流会

9月22日、西栗倉で台湾・台東県の政府関係者と原住民系事業者ら23名を受け入れ、村内5拠点を巡る視察と座談会を実施しました。

副村長の説明や事業者の発表に加え、前日の懇親会では獅子舞を披露し文化交流を深めました。台湾側は地方創生やUターン、地域資源の活用に関心を示し、質問が相次ぎました。視察は通訳による日中二言語で進行し、地元食や木

製品にも触れていただきました。

交流の機会を今回にとどめず、今後の協働にもつなげていきます。具体的には、11月に村内の複数事業者が台湾を訪問し、林業や自然保育を所管する国の機関を視察するほか、台東県の現地の皆さんとの交流を予定しています。



連絡先 090-4109-6500

あわくら大学9月講座

やってみよう健康麻雀

9月19日、あわくら会館百森ひろばで「やってみよう健康麻雀」を題材にミニ講義と実践を行いました。講師は元地域おこし協力隊で健康麻雀倶楽部の森本真志氏です。「飲まない・吸わない・賭けない」を三原則とした健康麻雀が認知機能の向上や介護予防、交流促進に役立つ意義を説明しました。参加者は手積み体験や大学生同士の対局を通して楽しく学び、「次は自分もやってみたい」「仲間同士で麻雀をやってみ

みたい」という声があがりました。

健康麻雀の概要や歴史的背景にも触れ、継続的な交流の場として楽しむことができるものであると知ることができました。



あわくら会館・図書館 副館長白岩将伍

特色ある教育通信

「お店をやってみたい！」
Pocket夏祭り開催

毎年恒例のPocket夏祭り。小学1年生から6年生までが参加し、7つのお店を出しました。朝ぎりぎりまで準備に力を注いだ子や、綿あめ作りを何度も練習してきた子など、自分のお店への責任感とワクワクを胸に取り組んだ夏祭りは、学校の友達はもちろん、保護者や地域の方々も多く訪れ、会場は賑やかで活気に満ちていました。

初参加の子どもたちは一生懸命に丁寧な言葉で接客する姿が印象的

でした。また、昨年も参加した子どもたちは、「次はこれが必要だからまだあるけど多めに用意しておこう」と先を見通して行動している様子も見られました。

子どもたちは、「人に喜んでもらい、対価を得る」経験を通じて、それぞれ成長を感じ取ったようです。振り返りを重ね、次の企画に向けて意欲を高めています。この夏祭りは、新たな学びや挑戦する場となりました。



教育コーディネーター 今井 晴菜

俳句

あわくら俳句教室

令和七年九月二十日

兼題・星祭・虫時雨・自由題

目覚ましと同じ波長の虫時雨

小坂康子

星祭りひと日の終の夢遠く

小椋仁美

若き日の短冊遣る星祭り

乾沙織

いにしへを語る無住寺竹の春

小坂康子

風はらむ秋雨は重き夜を連れ

小椋仁美

蛸の寄せては引いて山の黙

乾沙織

鶯掴みして唐黍の風を折る

選者吟

○毎月第三土曜日の午後一時三〇分からあわくら会館で活動しています。
丁寧に指導しますので、初心者の方もぜひご参加ください。

人の動き

■令和7年10月1日現在の動き

人口	1,296人(-3)
男	616人(0)
女	680人(-3)
世帯数	597人(0)

9月中の移動	
出生	0人
死亡	3人
転入	4人
転出	4人

■亡くなられた方

春名 俊憲 様	(中土居)	9月26日 92歳
小椋 清野 様	(別府)	9月28日 97歳

■お誕生おめでとう

ふくだ なつめ	福田 七紡要ちゃん	(猪之部)	福田 耕佑(父)	響(母)	8月7日
はるな えいる	春名 永琉ちゃん	(筏津)	春名 涼平(父)	怜里(母)	10月8日

善意の窓

令和7.9.23～令和8.10.8

【香典返し】

中土居	春名 昌美 様	父 俊憲 様	香典返し
別 府	小椋 多久美様	母 清野 様	香典返し

寄せられたご寄付は、ボランティア活動などの地域福祉の推進に役立っています。



広報についてのご意見・感想は掲示板、総務企画課までお問い合わせください。

◀ 村民掲示板ページQRコード

あわくら百景
あわくら百景



【若杉のおばけ杉】

その昔、少年がおつかいを頼まれたその帰りに、日暮れもうすぐであったため近道と思って若杉の林の中を通った。すると、一本の太い杉が目に入った。見つめれば見つめるほど、その杉は大きくなっていく。少年は恐ろしくなり逃げ出そうとしたところ、派手に転んでおつかいの油揚げを落としてしまった。すぐに見知らぬ狐がその油揚げをくわえて走り去っていったそうだ。なんか絶妙な話であるが、私の場合は年がら年中飼い猫に晩飯を狙われている。猫の場合はきっと騙し討ちも可愛いに決まっているので、心配はしていない。

社協だより

社協会費のご協力をお願いについて

日頃は、社会福祉事業の推進につきまして格別なご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

社会福祉協議会は、村民のみなさんに支えられた民間の福祉団体です。西粟倉村のキャッチフレーズ「生きるを楽しむ」を実現させるため社協では、『人と人が支え合うことで、一人ひとりが本領発揮でき、最後までここで暮らすことができる』を目指し『誰一人とりのこさない“**みんなの社協**”であり続けるため』の地域福祉事業に取り組んでいます。

より充実した福祉事業の推進と複雑多様化する福祉ニーズへの確な対応を図る為に皆様の福祉に対するご理解とご支援をお願い申し上げます。

地域見守り事業について

社会福祉協議会では、村民のみなさまの万が一の時に備えるため、取り組みとして村内65歳以上のおひとり暮らしの方を対象に「緊急連絡先カード」を配布しております。このカードは、救急時や大規模災害の時に必要な情報を確認して速やかに対応や安否確認、親族などの方への連絡ができるようにするためのカードです。

このカードはマグネットになっているので、必要事項を記入の上、冷蔵庫の外側に貼りつけて活用していただいています。

あなたの命をまもります

緊急連絡先

①

②

西粟倉村社会福祉協議会

カードをご希望の方は社協事務局までお問い合わせください。

TEL 79-2561

令和7年度村老連杯グラウンドゴルフ大会

10月2日(木)に西粟倉中学校のグラウンドで秋晴れの中、参加者36名が好スコアで白熱したゲームをされていました。上位8名の方は、11月に開催される美作地区大会へ出場されます。

＼ 成績 ／	
優 勝	井辺 志津子さん (猪之部)
準優勝	豊福 秀樹さん (猪之部)
第三位	榎原 映子さん (筏津)



令和7年度社協杯ゲートボール大会

10月14日(火)社協杯ゲートボール大会を開催しました。6チームで対戦し、各チーム戦略や駆け引きを楽しみながらプレーされていました。

＼ 成績 ／	
優 勝	チーム・グリーン
準優勝	筏 津 チーム
第三位	長 尾 チーム



村民紹介レター

「生きるを楽しむ」
西栗倉村の人々を
友達紹介レターで
インタビュ―！



荻野 雅之さん

Ogino Masayuki

年齢：49

所属：株式会社木の里工房 木薫

pick up!

今月のテーマ

「西栗倉村の協力隊を終えても住み続ける理由」

Q1 村にはいつから住んでいますか？

大阪の百貨店やショッピングモールで婦人靴のお店を自営したのち、5年前に伊丹から親戚の居る西栗倉へ移住しました。地域おこし協力隊として木材分野の営業で約5年活動し、主に関西エリアの保育園や幼稚園の家具や遊具を担当してきました。

Q2 どんな仕事をしていますか？

営業の傍ら、今年からは農業担当として村の農家さんに加わり米作りをスタートしました。村の木・米・田んぼを活かした米を多くの人に届けて行く予定です。

Q3 村での生活について教えてください。

暮らしでは、子どものスポバレーを通して繋がったコミュニティや、知社地区の温かい受け入れに支えられて生活しています。息子のつながりで、他の子どもたちとオンラインゲームなどで遊んだりしています。

Q4 村にこんなのがあったらいいなと思うことはありますか。

古い家・借家の改修や新築の補助事業があるとっと移住者が増えるのではないかと感じています。他にも、夜の飲み会需要に便利な各公民館をループする「夜の福祉バス」が有るといいのかな？と思っています。

西栗倉村役場
電話番号

総務企画課 0868-79-2111
出納室 0868-79-2113
保健福祉課 0868-79-2233
産業観光課 0868-79-2230

建設課 0868-79-2231
教育委員会 0868-79-2216
診療所 0868-79-2220
FAX 0868-79-2125

各記事の内容についてのご意見・ご質問は、各課までお問合せください。

広報
令和7年11月号
No. 750

発行 〒707-0503 岡山県英田郡西栗倉村影石33-1
西栗倉村役場 総務企画課
TEL 0868-79-2111 FAX 0868-79-2125
印刷(資) 谷本弘輝堂



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と森林の再生に取り組む岡山県西栗倉村との連携により実現した「森の町内会一問伐に寄与する紙一」を使用しています